

## 9月7日 フィジー諸島の地震

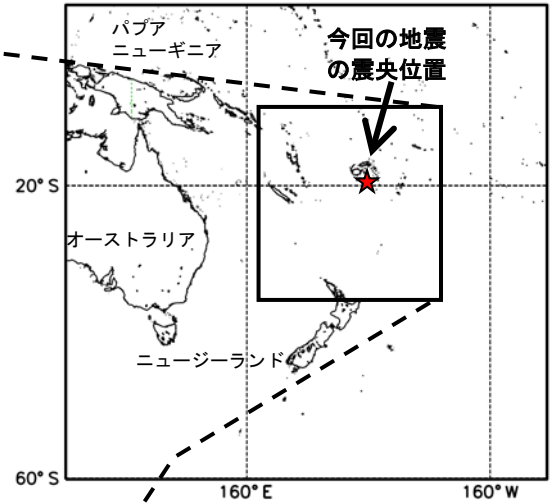
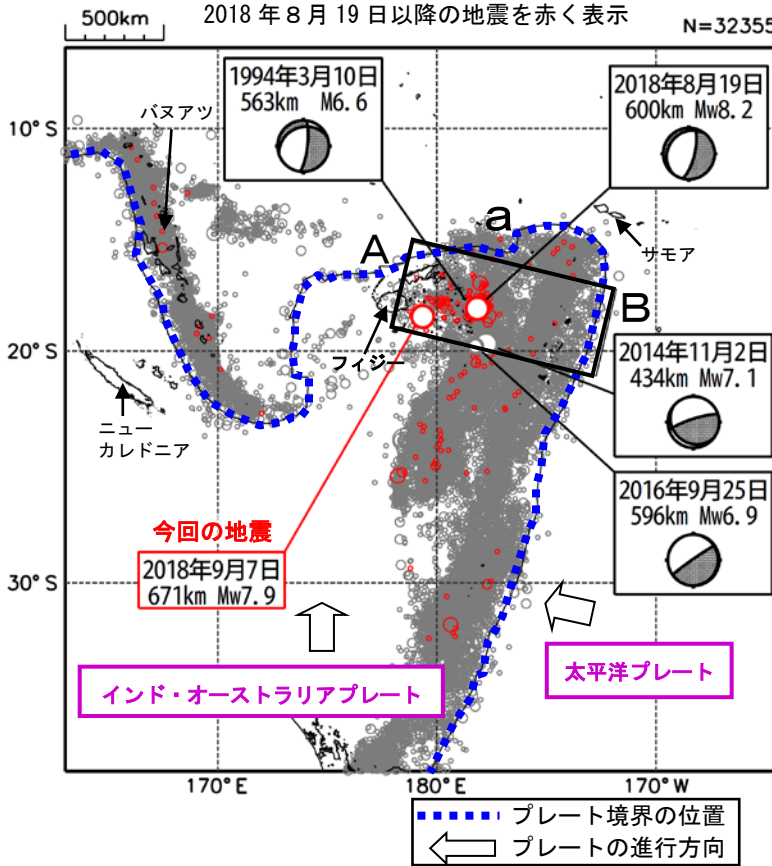
2018年9月7日00時49分(日本時間、以下同じ)に深さ671kmでMw7.9の地震が発生した。この地震は太平洋プレートの内部で発生した。発震機構(気象庁によるCMT解)は、東西方向に圧力軸を持つ型である。気象庁は、この地震に対して、同日01時09分に遠地震に関する情報(津波の心配なし)を発表した。

今回の地震の震源付近(領域b)では、同年8月19日09時19分にMw8.2の地震が発生し、地震活動が活発になった。

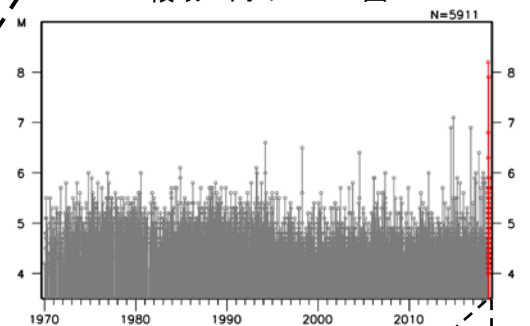
1970年以降の活動をみると、これらの地震の震源付近(領域b)では、M6.0以上の地震は時々発生しているものの、M7.5を超える地震は8月19日のMw8.2の地震と今回の地震のみである。

震央分布図

(1970年1月1日~2018年9月30日、深さ50~800km、 $M \geq 4.0$ )

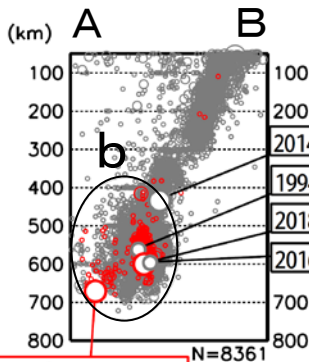


領域b内のM-T図

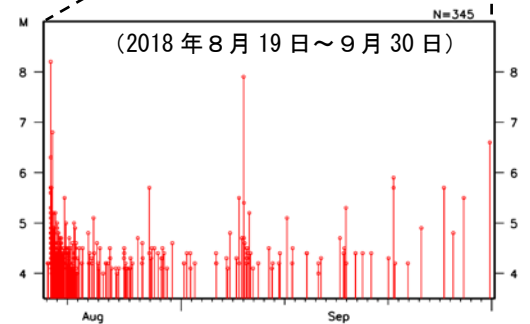
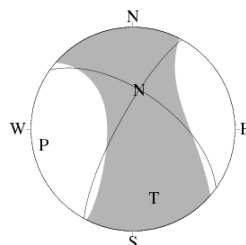


領域a内の断面図 (A-B投影)

縦横比を2:1として表示



今回の地震の発震機構 (CMT解)



※本資料中、2018年8月19日のMw8.2の地震、今回の地震の発震機構及びMwは気象庁、その他の地震の発震機構及びMwはGlobal CMTによる。また、1970年以降の地震の震源要素は米国地質調査所(USGS)による(2018年9月30日現在)。プレート境界の位置と進行方向はBird(2003)より引用。

\*参考文献 Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, *Geochemistry Geophysics Geosystems*, 4(3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252.